

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

仁方中学校区 校番 1 学校名 仁方中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎基本の定着と活用力向上のための授業の改善，自己肯定感の向上のために，適切に目標と指標が示されている。 ・ 中期経営目標を設定して，その中での2年目の目標と指標が適切に設定されている。 ・ ほとんどの項目で，達成値が目標値近くに設定され，適切である。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成のため種々の方策が設定され，創意工夫が見られ，適切に示されている。 ・ いろいろな方策が設定されているのが良い。 ・ 目標に対して方策が適切なため，近い達成値になっている。ただ，「たのしーと」の結果の心身の状態の結果があまり良くないので心配である。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの目標に向かった方策・工夫により結果が出ている。分析も適切である。 ・ 自己評価・分析がしっかりできている。 ・ コロナ禍の影響で，行事等ができなかったことが，「たのしーと」の肯定的評価の達成値に表れている。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の改善策(案)は焦点を絞り，それぞれ適切な(案)が示されている。 ・ 中期経営目標，最終年度に向けて，考えられている。 ・ 防災や感染症対応を適切に行いながら，取組を計画的に行うことが適切だと思われる。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の対応で，行事等もほとんどできませんでしたが，先生方の取組が生徒を前向きに指せていたと思います。 ・ コロナ禍の中，様々な工夫を凝らして取り組むことで，概ね目標を達成できたと報告を受け，ご同慶の至りである。 ・ 本校全生徒の心身の健全な育成を祈念する。 ・ 生徒と向き合う時間の達成度が低いのが気にかかります。

※ 評価は，A(とても適切)，B(概ね適切)，C(あまり適切でない)，D(まったく適切でない)，N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度も感染症対策を取組ながら，学校行事や教育活動の充実を図る。 ・ ICTを活用して，生徒の学びが深まるような工夫を全教職員が行えるよう，校内研修を充実させる。 ・ コグトレ，補充学習については，有効性を分析し次年度の取組に生かす。 ・ 次年度の公立高校の入学選抜で実施される「自己表現」に向け，面談や授業での意見発表などを工夫して取り組む。 ・ 教育相談については，「学校たのしーと」を活用しながら，ミニカウンセリングを計画的に実施し，生徒の自己肯定感の向上にもつなげていく。 ・ コロナ禍の中，ICT機器の活用などや行事等の精選の取組が，業務改善に繋がるように，研修や学校全体の取組の見直しを図る。
--------------------	---